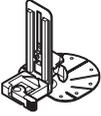
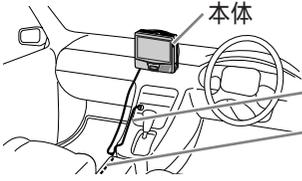
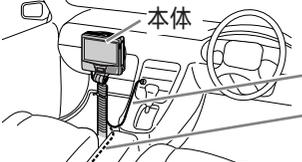
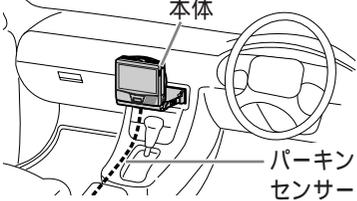
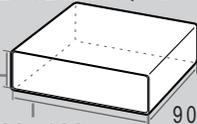


スタンド(別売品)と本体を取り付ける

本体を取り付けるには、スタンド(別売品)が必要です。下記の5種類の中からお好みのスタンドを選んで取り付けてください。

詳しい取り付けかたについては、それぞれのスタンドに添付の説明書をお読みください。

スタンドの適合車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

スタンド名	品番	形状と取付場所	取付例 (コードの接続のしかた [※] 22ページ)
ダッシュボード スタンド	KX-GNS06	 <ul style="list-style-type: none"> ● ダッシュボードに取り付けます。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体 ● カーバッテリーコード ● パーキングブレーキセンサーコード
アームスタンド	KS-GA3 (クイックシュー 付属)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 助手席の固定ボルトに取り付けます。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体 ● カーバッテリーコード ● パーキングブレーキセンサーコード ● クイックシュー(品番:PQKL10034Z)は、旧機種からの買い替えのときに必要となる場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
インダッシュ スタンド	KX-GNS30	 <ul style="list-style-type: none"> ● 1DINコンソール内に取り付けます。 	<p>インダッシュスタンドを車に取り付けるには、専門技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 本体 ● パーキングブレーキセンサーコード ● 本体に別売のテレビチューナーユニットを取り付けた状態では、インダッシュスタンドに収納できません。 ● インダッシュスタンドの引き出し、収納は手動式です。
らくらく スタンド	KX-GNS34	 <ul style="list-style-type: none"> ● コンソールの小物入れに取り付けます。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体 ● パーキングブレーキセンサーコード <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>取り付け可能な小物入れの寸法 42~52 mm (数字は内寸法)</p>  <p>130~180 mm 90 mm以上</p> </div>
1DINスペース 取付スタンド	KS-GNS24	 <ul style="list-style-type: none"> ● 1DINコンソール内に取り付けます。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体 ● パーキングブレーキセンサーコード

お願い

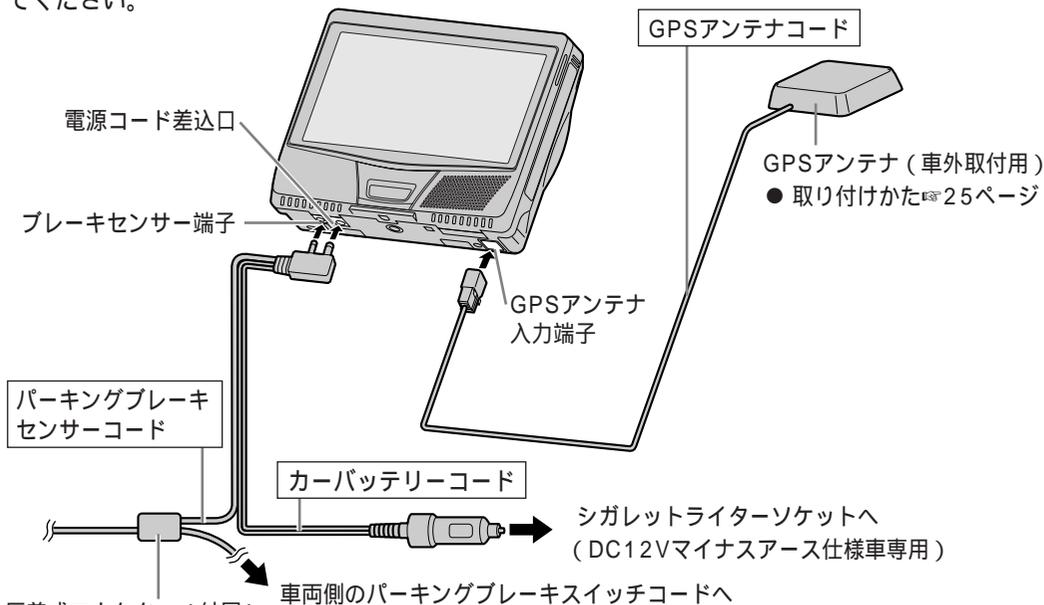
- 指定以外のスタンドは使用しないでください。([※]117ページ「別売品一覧」)
- 極端な高温・低温になる場所に放置しないでください。

〔夏季の閉めきった車内、長時間直射日光の当たる場所や極端な低温場所に放置すると、変形・変色・故障の原因となることがあります。保存温度範囲：-10 ~ +60〕

コードを接続する

カーバッテリーコードを接続する

カーバッテリーコード、パーキングブレーキセンサーコード、GPSアンテナコードを下図のように接続してください。



圧着式コネクタ (付属)

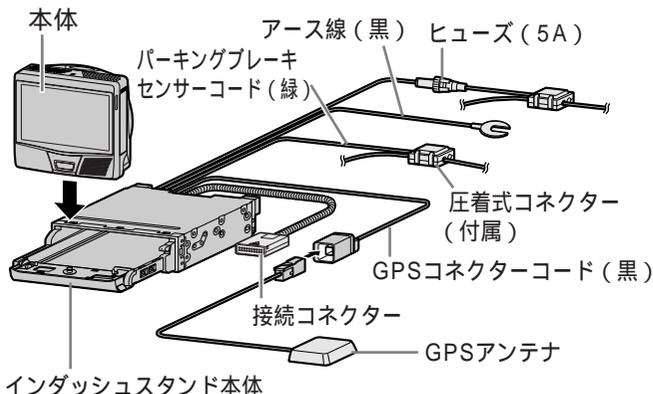
● コード接続方法 23ページ

お願い

- カーバッテリーコードのプラグは、シガレットライターソケットおよび本体の奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。(接触不良の原因になる場合があります。)
- GPSアンテナのコードのコネクタは、カチッと音がするまで差し込んでください。
- コードなどの配線処理は、安全運転に支障をきたさないようにしてください。
- 座席シートを移動するとき、コードなどはさみこまないようにシートの下へたばねるなどして、配線処理をしてください。

インダッシュスタンドの場合

インダッシュスタンドでの取り付け・配線には専門技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

コードをはさみ込ませたり、引っぱりたり傷つけない



禁止

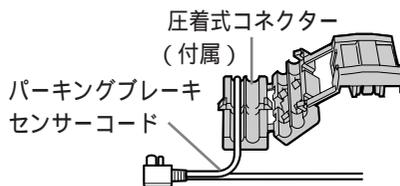
ショートや断線により、故障や火災の原因になることがあります。

パーキングブレーキセンサーコードを接続する

何のため？

走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり、大変危険です。本機では、お客様の安全を守るため、走行中の操作を制限しています。走行中か停車中かを判断するために、パーキングブレーキセンサーコードを接続します。パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。(※31ページ)

- 1** パーキングブレーキセンサーコードの先端を
圧着式コネクタ(付属)の溝に取り付ける



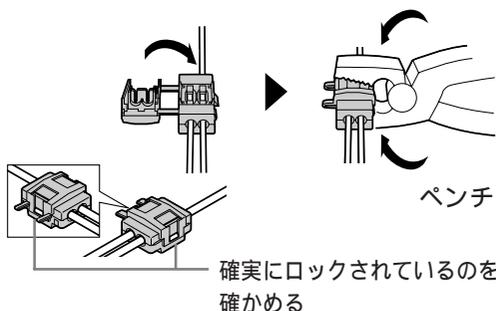
- 2** 圧着式コネクタを車両側のパーキング
ブレーキスイッチコードに取り付ける

- パーキングブレーキスイッチコードの位置について
※24ページ



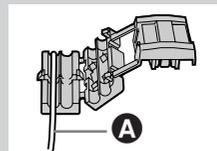
- 3** 圧着式コネクタを折りたたみ、
ペンチなどでしっかりと固定する

- コネクタのロック2カ所が確実にかかっている
ことをお確かめください。



接続をまちがえたときは、**A**の位置でパーキングブレーキセンサーコードを切り、市販の圧着式コネクタ(適用電線サイズ: AWG # 20 ~ 18)を使い正しい位置に取り付け直してください。

(圧着式コネクタを無理に外すと断線の原因になります。)



お願い

- 車両のパーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接続が不十分になり正しく動作しないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやバックランプ、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するか確認してください。

お知らせ

- パーキングブレーキセンサーコードは適当な長さに切って接続できます。
- パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していない場合、停車中にパーキングブレーキを引いても、走行中と判断し、機能や操作を制限します。再度、接続をお確かめください。

次ページへ ▶

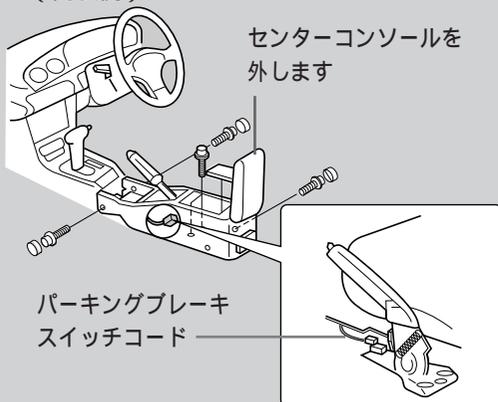
コードを接続する

パーキングブレーキセンサーコードを接続する つづき

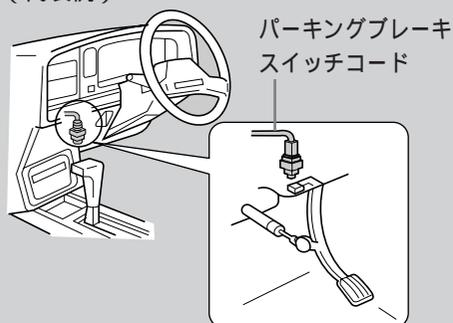
パーキングブレーキスイッチコードの位置

車種によって異なります。詳しくは車をお買い求めの販売店またはサービス会社などにご相談ください。

パーキングブレーキがハンドブレーキの場合
(代表例)



パーキングブレーキがフットブレーキの場合
(代表例)



警告

パーキングブレーキセンサーコードを接続するときは、パーキングブレーキを引いて、エンジンを切る



車が動いて、事故の原因になります。

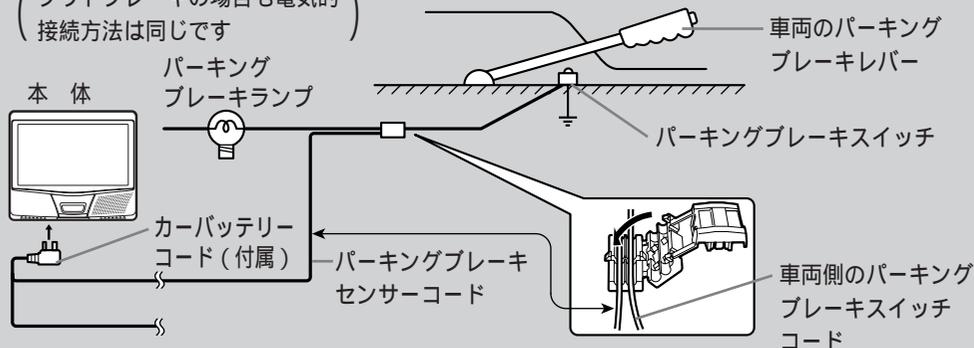
安全のため必ずパーキングブレーキスイッチコードに接続する



間違った取り付けをすると、安全機能がはたらかなくなり、事故の原因になります。

● 22～24ページに従って正しく接続してください。

配線図 (フットブレーキの場合も電氣的接続方法は同じです)



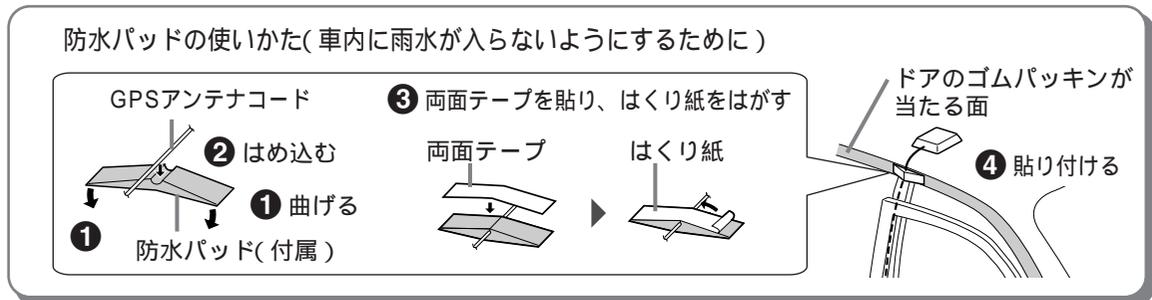
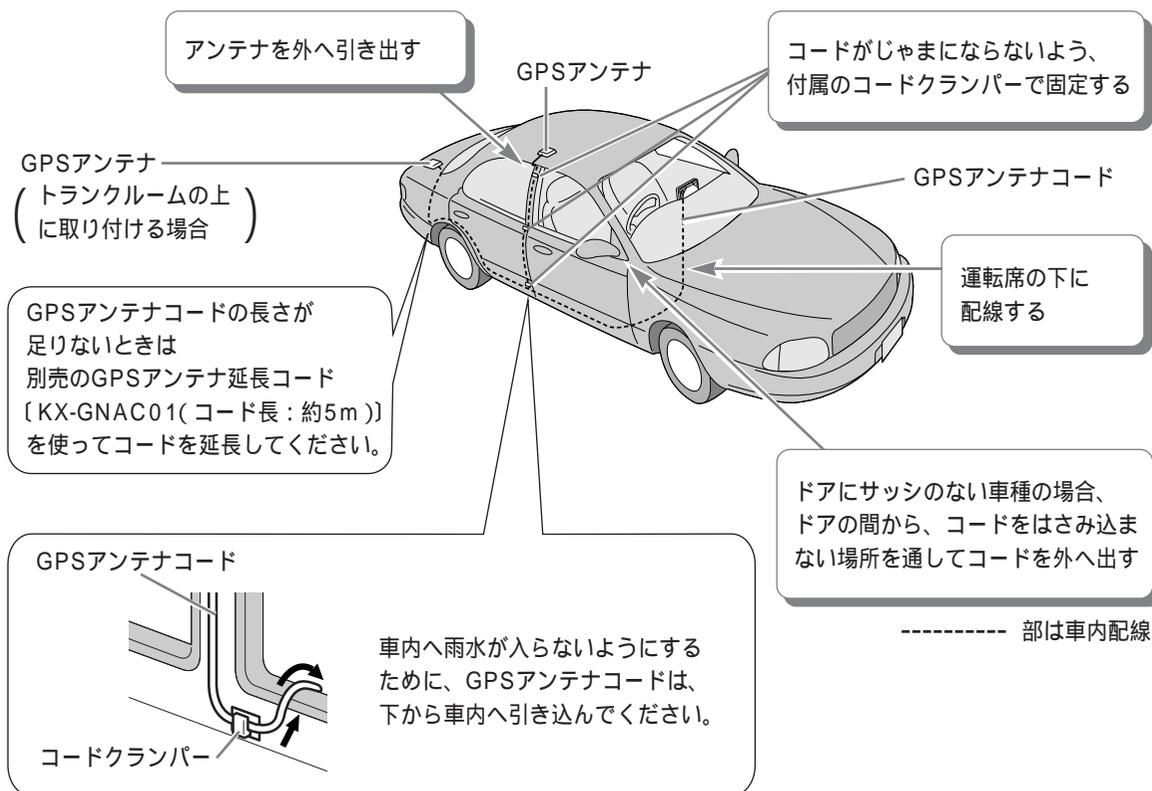
GPSアンテナを取り付ける

GPSアンテナの取り付け場所

GPSアンテナは下図のようにGPSアンテナコードを引き回し、アンテナ底面の磁石で屋根(ルーフ)などに固定します。できるだけGPS衛星からの信号を受けやすい場所に水平に取り付けてください。

車のダッシュボードに取り付けると、車の屋根(ルーフ)などの金属部やガラスの種類によっては、GPS衛星からの信号を受けにくくなるため、現在地を正確に表示できなくなり、ナビゲーション機能が正常にはたらかない場合があります。

〔取付例〕



GPSアンテナの固定のしかた

しっかりと取り付けるために、GPSアンテナを平らな面にのせ、アンテナの磁石の力で固定する

良い例



悪い例



GPSアンテナを取り付ける

GPSアンテナの取り付け場所 つづき



お願い

GPSアンテナについて

- GPSアンテナは、本体から50 cm以上離して取り付けてください。
- GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。時計や磁気カードなどに近づけないでください。
(時計や磁気カードが故障したり、使えなくなることがあります。)
- GPSアンテナは地面や砂ぼこりの多い所には置かないでください。
(取り付けの際、磁石に付いた鉄粉で車のルーフを傷つけないように、鉄粉などをよく取り除いてください。)
- GPSアンテナに雪が積もると受信できません。雪を取り除いてください。
- 洗車などのときは取り外してください。(傷付きや故障の原因になります。)

アンテナコードについて

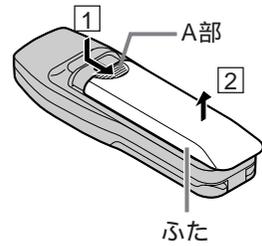
- GPSアンテナコードを車外でたるませたままにしないでください。
- GPSアンテナのコードはテレビやラジオのアンテナコードから離してください。
(テレビやラジオの受信妨害の原因になります。)
- GPSアンテナを取り外すときに、GPSアンテナコードを引っ張らないでください。

リモコンの準備をする

リモコン(10キー付き)の電池の入れかた

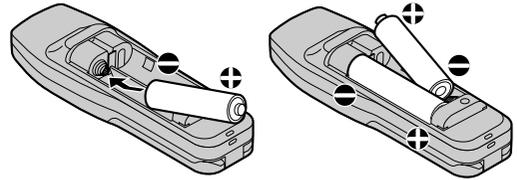
1 ふたを開ける

- ① ふたのA部を指で少し強めに押しながら矢印の方向にスライドする
- ② 真上に取り外す



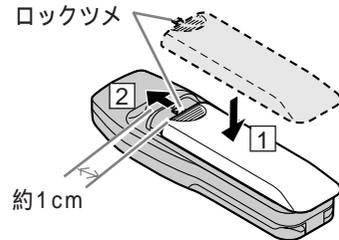
2 電池を入れる

- 電池収納部(底面)の表示に従って入れる。



3 ふたを閉める

- ① 図のように、ふたの閉まる位置よりややすきま(約1cm)をあけた位置に、真上からふたをのせる
- ② ふたのロックツメを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで差し込む



悪い例

- 右図のようにふたを横からスライドしても、完全に閉まりません。



お願い

- 充電式(Ni-Cd)電池は使用しないでください。(形状および性能の一部が異なり、正しく機能がはたらかないことがあります。)
- 電池は単3形乾電池を2本使用してください。
乾電池の寿命 : 約1年(1日当たりキー受付回数120回使用の場合)
マンガン乾電池を20 で使用したとき

⚠ 注意

指定外の電池、新・旧電池や種類の違う電池をいっしょに使わない



禁止

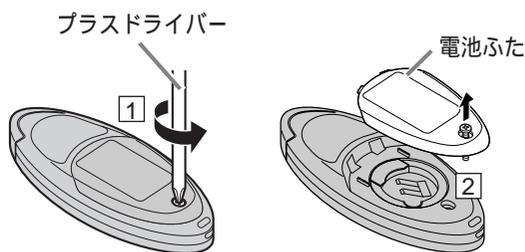
電池の発熱によるやけどや、液漏れの原因になることがあります。

リモコンの準備をする

これだけリモコンの電池の入れかた

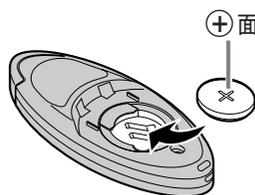
1 電池ふたを開ける

- ① プラスドライバーで裏面のネジを回す
(左回し)
- ② 電池ふたを取り外す
 - ネジに合わないドライバーを使用しないでください。(ネジの十字穴を傷める原因となります。)



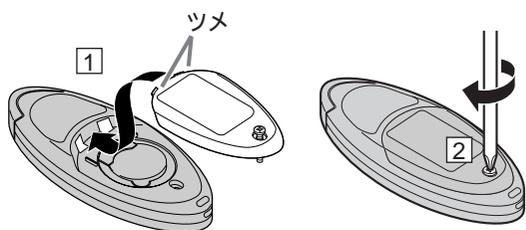
2 電池を入れる

- ⊕ を上にして入れてください。



3 電池ふたを閉める

- ① 電池ふたのツメを引っかけて閉める
- ② プラスドライバーでネジを締める
(右回し)



お願い

- ⊕ ⊖ は正しく入れてください。
- リチウム電池の取り扱いについて 15 ページ
- リチウム電池品番: CR2032
電池の寿命 : 約6ヵ月 (ボタンを押す合計時間: 2分間/日)
リチウム電池を20 で使用したとき

リチウム電池の取り出しかた
図のようにしてリチウム電池を
取り出します。



警告

リチウム電池は幼児の手の届く
所に置かない



禁止



- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

リチウム電池を廃棄するとき
は、端子をセロテープなどで
巻きつけて絶縁する



- 他の金属や電池と混じると、発熱・破裂・発火の原因になります。

ディスクを入れる

1 電源を切る

2 オープンボタンを押す

ディスクホルダー

(裏面)

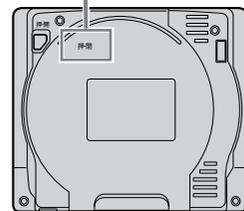
4 ディスクを入れる

- 印刷面を外側に向け、ディスクの中央の穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

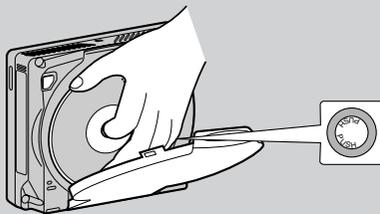
3 CDカバーを開ける
● CDカバーの開閉は手動式です。

5 CDカバーを閉じる
● カバーの押・閉表示部を押して、確実に閉じてください。

押・閉表示部



取り出しかた



電源を切り、ディスクホルダーを押さえながら、ディスクを取り出す



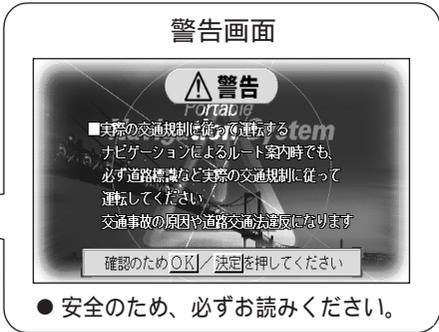
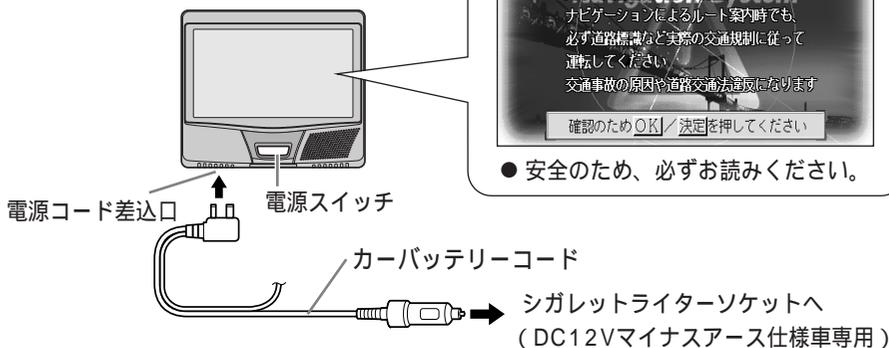
- 付属の地図ディスク以外にも、別売の地図ディスクが使えます。
使える地図ディスクについて 94ページ

電源を入れる



(これだけリモコン)

- 1** 電源スイッチを奥までしっかりと押す
● 警告画面を約1分間表示する。



- 2** **OK** を押す
- 地図画面を表示する。(地図画面の見かた 34ページ)
 - これだけリモコンで使うときは、**決定** を押す。

電源の切りかた

電源スイッチを画面が消えるまで(約1秒)押し続ける

お願い

- 電源スイッチの入/切は、奥までしっかり押してください。
- 車両によって車のキーをOFF(抜く)にしても、ナビゲーション本体の電源が切れない場合があります。車を離れるときは、電源スイッチを切ってください。(バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなる場合があります。)

お知らせ

- 1分間何も操作しない場合、現在地を表示します。(お買い上げ時は、現在地が測定されるまで、東京駅を現在地として表示します。)
- あいさつの音声を流さないようにするとき 74ページ
- 異なるメッセージが表示されたとき 130ページの「こんなメッセージが出たときは」

警告画面で **OK** を押した後の画面について

- 前に使用した状態により、次のような画面を表示します。

前に使用した画面	走行中	停車中
地図画面・案内中	地図画面	地図画面
音楽ディスク(CD)	操作画面	操作画面
CD-G	操作画面	再生画面
テレビ(ビデオ)画面	画面は出ず音声のみ	テレビ(ビデオ)画面

警告

運転者は走行中に操作をしたり、画面を注視しない



前方不注意となり交通事故の原因や道路交通法違反になります。

禁止

- ルート設定などの操作は安全な場所に停車して行ってください。

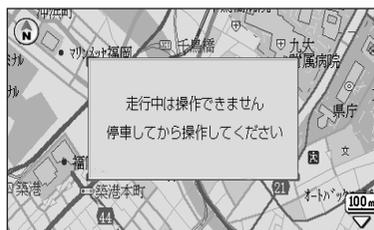
操作や機能の制限について

- 走行中は、安全のため、次の表のように、操作や機能が制限されます。

主な操作・機能	走行中	停車中 ³
メインメニュー (☎38ページ)	× ¹	
OKメニュー (☎40ページ)	2	
これだけメニュー (☎別冊4ページ)	× ¹	
ナビゲーション (☎41ページ)	(細い道は表示しません)	
音楽ディスク(CD) (☎122ページ)		
CD-G (☎123ページ)	4 (映像が出ず操作画面を表示)	
テレビ(ビデオ) (☎118ページ)	4 (映像が出ず音声のみ)	

：制限なし ：一部制限あり ×：制限あり

- 1 操作をしようとする時、右の画面を約2秒間表示します。
- 2 走行中は操作できる項目だけ表示します。
- 3 停車中とは、停車しパーキングブレーキを引いた状態です。
- 4 走行中でも音声は出ます。



- 自宅などで使用の場合
別売の簡易スタンドとACアダプターや、充電式バッテリーパックを使用する場合は、別売のVICSの機能 (☎99ページ)は使えません。

お知らせ

- パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していないと、走行中と判断し、走行中と同様に操作が制限されます。

現在地からのルートを作るときや、正しいルート案内をするためには、必ず、現在地を測定する必要があります。

現在地は、GPS衛星からの信号を受信して表示させます。(GPS衛星についての詳細は 16ページ)



1 地図画面で を押す

- 現在地の測定が始まる。
- 初めてお使いになるときは、現在地が表示(測定)されるまで約20分かかることがあります。また、できるだけ見晴らしのよい安全な場所に停車して行ってください。



2 測定が終わったら、 を押す

- 現在地を表示した地図画面に戻る。
- 測定完了： 赤色で表示
- 受信状況が悪く測定できないとき： 白色で表示



現在地を表示(測定)するまでの時間

●見晴らしがよく、受信状態のよい場所	約1～2分
●お買い上げ後、最初に使うとき ●長期間使わなかったとき ●受信せずに約300 km以上移動したとき	約20分かかることがあります

お知らせ

- GPS衛星の配置が悪いと、4個以上のGPS衛星からの信号を受信できていても、一時的に現在地のずれが大きくなったり、現在地を表示しなかったりすることがあります。
- お買い上げ時の現在地は、東京駅に設定されています。
- 現在地が測定できない場所(下記)では、自車位置を設定することで、ルート作成など(ナビゲーション以外のこと)ができます。(33ページ「現在地が表示(測定)できないときは」)
- 長期間ナビゲーションを使わなかった場合は、ナビゲーションを行う前に現在地を表示(測定)してください。
- GPS衛星の測定誤差は、約30～200 mくらいです。

現在地が測定できない場所

右のような場所ではGPS衛星からの信号を受信しにくいいため、測定できません。場所を移動してください。



現在地が表示(測定)できないときは

GPS衛星からの信号を受信できないなど、現在地が表示(測定)できないときは、現在地(自転車位置)を設定できます。次のような場合は、自転車位置を設定してください。

- 自宅などの屋内で現在地が表示できない場所でルートを作るとき
- 自立航法ユニット(別売)を接続しているときに、現在地の表示に誤差が生じたとき

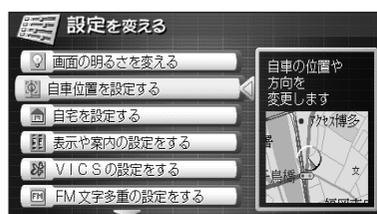
カーソルキー



1 **メニュー** を押し、カーソルキーで **【設定を変える】(設定)** を選び、**OK** を押す

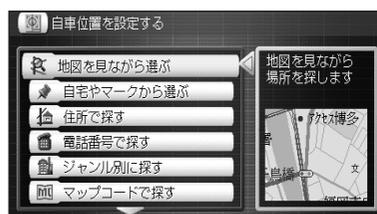


2 **【自転車位置を設定する】** を選び、**OK** を押す



3 カーソルキーで設定する場所を探す方法を選び、**OK** を押す

- 場所の探し方 85～90ページ



4 カーソルを自転車位置にしたい場所に合わせ、**OK** を押す

- 自転車位置の設定は、できるだけ詳細な地図で行ってください。



5 カーソルキー()で自転車マーク内の矢印を、設定したい進行方向へ回転し、方向が合ったら **OK** を押す

- 設定が終わり地図画面に戻る。
- 案内を始めたとき → **案内開始** を押す

